

<b>【大学間協定留学】 留学報告書</b>
------------------------

記入日：2022年09月29日

所属学部／研究科・学科／専攻	情報コミュニケーション学部
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： カリフォルニア大学バークレー校 現地言語： University of California, Berkeley
留学期間	2022年05月～2022年08月
留学した時の学年	4年生（渡航した時の学年）
留学先での学年	4年生（留学先大学で在籍した学年）
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年08月21日
明治大学卒業予定年	2023年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：          2学期：          3学期：          4学期： (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	6638	円	アプリケーションフィー等含む
宿舍費	5030	円	アプリケーションフィー等含む
食費	4500	円	120食は寮にいたのでその他
図書費	250	円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	90	円	SIMカード
現地交通費	500	円	現地でのUberや電車等(ただし、SFやダウンタウンまでは無料バスあり)( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費	20	円	処方箋の出ない薬代。その他の受診費は全額明治の保険で負担。
保険費		円	形態：
渡航旅費		110000円	
ビザ申請費		30000円	
雑費		300000円	現地での遊び代等
その他		円	
その他		円	
合計		2900000円	1\$=145円で計算(ドル高円安、手数料の影響)

## 渡航関連

<b>渡航経路</b>
往路 出発地：羽田 目的地：SF 経由地： 復路 出発地：LA 目的地：羽田 経由地：
<b>渡航費用</b>
①往復チケットを購入した場合 航空会社：_____ 料金：_____
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社：JAL 料金：55000 復路 航空会社：JAL 料金：55000 ∴合計：110000(サーチャージ代のみ)
<b>航空券購入方法</b>
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名：_____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名：公式サイト) <input type="checkbox"/> その他(_____)

## 滞在形態関連

<b>1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎など)</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前：International House) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
<b>2) 部屋の形態</b>
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数2)
<b>3) 共有部分</b>
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
<b>4) 住居を探した方法：</b>
過去の留学体験記を参考
<b>5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)</b>

## 現地情報

<b>1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例：現地の病院、学内の診療所)</b>
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所：現地の病院)
<b>2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等)</b>
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等：保険会社)
<b>3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？</b>
現地で長く生活している友人から。危険なエリアには近付かない。巻き込まれたことは無い。
<b>4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)</b>
寮のインターネットが部屋によっては弱いので切れることも多々あった。街中には意外とWi-fiがなく困った。
<b>5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？(例：現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)</b>
日本の銀行口座と紐付けたクレジットカードを複数使用していた。
<b>6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。</b>
日本のカップラーメン・焼きそば、洗顔類
<b>7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)</b>
クレジットカードで支払った。授業料は2月、寮費は4月。

## 学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

1)留学先で取得した単位数合計	<b>本学で認定された単位数合計</b> ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・履修の制限はありましたか？	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Marketing	マーケティング
科目設置学部・研究科	Haas
履修期間	SessionA
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	大人数講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回
担当教授	Janet Brady
授業内容	簡単なフレームワークやマーケティングの考え方について、具体例を用いて学んだのちに、各グループに分かれ、20 ページ弱のケースが割り振られ、各チームでプレゼンを行う。
試験・課題など	主にレポート、期末試験、プレゼンテーション（20 分発表、20-25 分質疑応答）の 3 つで評価される。試験は 4 者択一であり、簡単な暗記というより理解が問われる問題から先生についてなど遊び心くすぐる問題まで 40-50 問ほどある。
感想を自由記入	教授の人柄が素晴らしく、外国語が出来ないことを理解した上で尊重して授業を進めてくれる。しかし、名指しで意見を求められることや授業中の積極性が評価項目にあることもあり、英語ができないながらもとにかく伝えようとする姿勢が必要である。個人的にかなりおすすめの授業。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Project Management	プロジェクトマネジメント
科目設置学部・研究科	Haas
履修期間	SessionA
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	少人数双方形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 150 分が 2 回
担当教授	Omar Romero-Hernandez
授業内容	ケースの分析、ガントチャート等、プロジェクトマネジメントをする上で必要な思考やフレームワークなどをツールを用いつつ学ぶ。後半はグループワークがメインであり、一つのプロジェクトを企画し、発表する。
試験・課題など	ケースの分析や HBS のツール（ガントチャートやシミュレーション等）、期末試験、プレゼンテーション等を行う。
感想を自由記入	全体的に課題は緩めであり、グループで楽しんで学んでほしいという意向が強いように思えた。序盤に 5 人程度のグループで英語でケースのディスカッションをするという授業をきっかけにスワップした友人が多かったが、そこが山場であり、基本的にはグループ活動かつ少人数の関係で非常にクラスメイト同士で仲良くなる授業である。クラスメイトと毎授業後食事に行ったり、休みの日にはレンタカーを利用してワイナリーに行ったりなど非常に交流することができ、最も取ってよかったと言える授業である。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Introduction to International Business		国際ビジネス初級	
科目設置学部・研究科	Haas		
履修期間	SessionD		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	大人数講義形式（チュートリアル，講義形式等）		
授業時間数	1週間に150分が3回		
担当教授	Daniel A HIMELSTEIN		
授業内容	Haasの副学長が国際ビジネスを行う上で考えるべき社会的観点、政治的観点、法律的観点等を彼の知見をもとに行う。基本的には一方が占める時間が多く、クラスメイト同士での交流はかなり少ない。		
試験・課題など	大きく2つの中間レポート、期末レポートで評価が下される。どちらもテーマは国際ビジネスであり、分量も2時間で終わる程度。楽しみたいならおすすめかもしれない。		
感想を自由記入	レクチャー式であり、1人で学びたい人にはおすすめだが、これはオンラインでも代用できるだろう。せっかく現地に行って学ぶのであれば、双方向の交流が重要だと思うので、あまりお勧めはしない。しかし、先生の話すスピードが速いので、リスニング練習を兼ねて学びたいのであればとっても良いかもしれない。個人的には内容も本で十分であった。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Voice Class		声楽	
科目設置学部・研究科	Music		
履修期間	SessionD		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	少人数双方形式（チュートリアル，講義形式等）		
授業時間数	1週間に150分が2回		
担当教授	Nikolas nackley		
授業内容	歌の極基本的な知識や身体の使いかた、呼吸法などを学びつつ、発生練習を行い、課題曲に取り組む。2-3回ほどグループで練習する機会があるが、その時だけなので案外仲良くなるのは難しい。また、授業レベルはかなり初心者向けであり、中学や高校の音楽の授業をイメージしていただけたらかなり近いだろう。従って、ある程度歌をやっている人には物足りない授業となる。		
試験・課題など	1時間半程度の動画を見て3つの簡単な記述式のクイズに答えるという課題が15%ほどを占め、残りは最終の歌の発表で決まる。正直ほぼ全員初心者なので、頑張って曲を覚えて歌いきればGPA4は獲得できるだろう。		
感想を自由記入	私自身は3年間合唱、9年間オペラを習っている背景から世界から集まる猛者と切磋琢磨してさらに歌のレベルを上げたいという想いで受講したが、ほとんど初心者だったためむしろかなり浮いてしまい、先生のような扱いを受けてしまった。先生のレベルは非常に高かったが、個人レッスンではないため、全体のレベルに合わせる背景から学べるものは少なかった。楽しみたいならおすすめです。		

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
Goodfind、AlternativeInternship、外資就活、ワンキャリア、ワンキャリアプラス、OpenWork、Openmoney
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前,あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界,職種等を教えてください。
財閥系総合商社
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備,帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
後悔しないで欲しい。あなたには全ての可能性を秘めています。挑戦する前から諦めないでほしい。これが私からのメッセージです。私は小学生の頃から将来を見据えて行動し続け、大学1年生の頃から海外インターンに参加してきました。その結果、外資系投資銀行や総合商社等いわゆる難関企業と呼ばれる企業の選考を通過することができました。これを聞くと、すごい経験をしているから受かるんだ、と思う人もいるかもしれませんが。実際のところはわかりかねますが、私はそうは思いません。自分が好きなことに、熱中できることに一生懸命取り組み、常に思考し、この経験を自分の言葉で話せるように練習する。これだけで、必ずあなたのベストな選択ができると思います。学歴フィルターや大層なガクチカが無い等つまらないことを理由に諦めないでください。あなたにはあなたの人生があるので、それをしっかりと振り返り、言語化すれば魅力的な人間であることをしっかりと伝えられます。 また、就職活動という小さな枠に囚われないで欲しいとも思います。起業やフリーランス、公務員、フリーター、ヒモになる等様々な選択肢がある中で何故就職活動をするのか、企業に労働者として勤めるのかを今一度自分の人生のビジョン、なりたい姿に照らし合わせて考えてみてください。常に自分の人生という長いスパンから逆算して考えることで、後悔のない選択ができると思います。ビジョンは大層じゃなくてちっぽけなことでも良い、夢は何度変わってもいい。ただ、それを持ち続け、そこに向かって行動し続け、修正していけば良い、と私は思います。 留学も就活のため等ちっぽけな目的ではなく、自分の人生を豊かにするために有意義な学びに変えてくれることを願っています。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備,試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備,試験勉強,留学中,留学後,特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例:語学試験の勉強,選考,出願,ビザ申請・取得,航空券購入,予防接種,滞在先の確保,留学中の中間試験,期末試験,その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	英語学習
	4月～7月	語学要件クリア
	8月～9月	留学制度の調査
	10月～12月	申請
留学開始年	1月～3月	授業料振り込み
	4月～7月	寮費振り込み、出国
	8月～9月	帰国
	10月～12月	



留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

### 留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

トップユニバーシティを選んだ理由、カリフォルニア大学を選んだ理由、バークレーを選んだ理由について述べた後に、留学生生活を学び編、遊び編、その他に分けて記述し、最後に一言アドバイスを書いて締めさせていただきます。

トップユニバーシティを選んだ理由：レベルの高い学生と共に学びたかったため。また、彼らとコネクションを持ちたかったため。

将来的に現地での就職（PE、VC、スタートアップでのCXO等）を視野に入れており、その際のビジネスに活かしたいと思い、レベルの高い学生とディスカッションすることで更なる知見の会得及び友好的な関係の構築を目指した。

カリフォルニア大学を選んだ理由：TOEICで行けるから。また、ダイバシティが最もあるから。

前者に関しては本音ベースであり、私自身はあまり英語が得意ではなく、他トップユニバーシティへの留学がやや厳しかった。後者に関しては、自分自身の文化に対する許容度の向上や思考の柔軟性強化による将来のビジネス、生活に活かしたいという背景がある。また、将来のビジョンとして機会格差をなくし、世界の人々を幸せにしたいという想いがあるため、彼らの生活や思考、常識を知ることがビジョン達成に資すると考えた。

バークレーを選んだ理由：最もレベルが高く、最もダイバシティに溢れているから。

レベルが高い大学なため、世界中から人が集まり、地域の歴史として過去に学生運動が発生した背景から、よりダイバシティもあると考えた。

留学生活学び編：授業以外の時間はテストに関しては同じ授業を取っている外国人クラスメイト、それ以外に関しては同じ寮に住む日本人と取り組んでいることが多かった。勉強場所は主に寮内の図書館かオープンスペース、気晴らしにカフェに行くくらいであった。中間試験や期末試験期間などはかなり立て込み、睡眠が3時間程度の日々が続いた。

留学生活遊び編：普段の日中はジムやスポーツ等にクラスメイトや寮の友人と取り組み、共に汗を流した。夜にはクラブやパーティーに足を運び、より外部の人と交流を図った。土日には少し遠出をしてSFに行き観光をしたり、時にはシリコンバレーまで行き、スタンフォード大学やGoogle等有名外資系Tech企業の散策などをして楽しんだ。4日以上のもっともった休みが取れる期間には、LAの方まで長時間バスを利用し、Hollywoodやディズニーランド、Universal Studio Hollywood等に行き楽しんでいた。

留学生活その他：個人的に就職先の駐在員やアメリカオフィス、現地で働く起業家との交流を図りたいという想いからサンタクララに足を運び、現地ビジネスや生活の話、今後の市場変化・その要因などについてたくさん勉強させていただいた。

最後に一言：留学生活に1つの正解はないので、自分なりに目的を持ち、主体的に行動し、実りある留学生活にしてください！